

## 定形外 便り



### 「様々な授業サポーター と川高生」

文：川根高校魅力化コーディネーター  
(地域おこし協力隊)

伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えてご紹介します。



## 英語を通して生まれる 学びと出会いの 新たなカタチ

サポーターとして常葉大学の学生と、八中区でゲストハウス Kanata Mountain Lodge を営む Mr. Laurence Guibord Cyr・沙織さん夫妻に英語の授業に参加してもらい、地元飲食店のメニュー翻訳に挑戦。学習を活かしながら、地域へ還元できる活動になりました。

「とろとろって英語でなんて伝えればいい?」「サクサクで美味しいって、どう言えばいいかな…」普段の授業ではあまり使わない単語やフレーズで、飲食店のメニュー紹介を考えた川高の2年生。苦戦しながらも、全部で61のメニューを翻訳しました！

大学との連携活動の一環として、常葉大学外国語学部英米語学科の協力のもと、千頭駅前【先頭館】と【カフェうえまる】のメニューを英語に翻訳して店舗へ提供する取組みを行っています。川根高校卒業生であり常葉大学生の森脇美優さんを中心に3名の大学生・教授と活動を進めてきました。大学生が店舗へ訪問し翻訳するメニューの特徴やこだわりを取材。その情報を基に川高生が紹介文を考え、翻訳しました。

海外の方になじみのないメニューを紹介するには、直訳では分かりづらかったり、料理のイメージが伝わらなったり、実はとても難しい。

実際に海外の方に伝わるのかアドバイスをもらうために、カナダ出身のローレンスさんと留学経験のある沙織さんにもサポーターとして授業に参加してもらいました。「想像以上に、生徒が積極的に質問や相談をしてくれ、一緒にどう伝えればいいのか考えるのはとても楽しかった」と話してくれました。

今回の授業では、単なる言葉の意味や文法を考えるのではなく、どのような表現であれば美味しさや料理のイメージが伝わるのかという視点で翻訳するという、実践的な活動になりました。「観光英語を大学で学んでますが、メニュー翻訳は初めて。高校生と一緒に私自身も英語表現の幅が広がった」と語る森脇さん。川高生にも大学生にとっても、刺激的な活動になったようです。

### 積極的な生徒の様子が サポーターも楽しみに



授業に参加してくれた森脇さん(左)とローレンスさん・沙織さん夫妻(右)

### 伊神花織 (いがみ かおり)

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！



川根高校のインスタグラムページ

伊神さんが更新川高生の様子から授業での豆知識まで発信中！

